

CentreCOM® LA100-PCI-T V2

インストールマニュアル NetWare 5

アライドテレシス(株)

本書は、CentreCOM LA100-PCI-T V2 LAN アダプターのドライバーをNetWare 5のサーバ、MS-DOSクライアントにインストールする手順を説明したものです。詳細は、ドライバーディスクに収録されている「¥netware.386¥readme.srv」「¥netware.dos¥readme.odt」をご覧ください。

1 ドライブ名

以下の説明では、インストールの対象となるコンピュータが「AT互換機またはPC98-NX」の場合は、CD-ROMドライブ「D:」、フロッピーディスクドライブ「A:」、MS-DOSがインストールされているハードディスクドライブ「C:」を仮定します。

また、「PC-9800/PC-9821」の場合は、CD-ROMドライブ「Q:」、フロッピーディスクドライブ「B:」、MS-DOSがインストールされているハードディスクドライブ「A:」と仮定します。

必ずしも、この通りではありません。実際にご使用のコンピュータでご確認になり、ドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものに読み替えてください。

2 サーバドライバーのインストール

2.1 ドライバーの解凍

NetWare 5サーバドライバーは、圧縮(自己解凍形式)された状態でドライバーディスクに収録されています(AT/PC98-NX用ディスクにだけ収録されています)。サーバドライバーのインストールを開始する前にあらかじめドライバーを解凍し、「NetWare 5のインストール時に読み込み可能なディレクトリ」または「フロッピーディスク」に保存してください。下記に、インストール時に読み込み可能なディレクトリとして「c:\driver」に解凍する例を示します。

```
C: ¥>A:  
A: ¥>cd netware.386¥nw500  
A: ¥NETWARE.386¥NW500>1a100v2.exe C:¥Driver
```

解凍が正常に終了すると解凍時に指定したディレクトリに下記のファイルが保存されます。

```
LA100V2.LAN サーバドライバー  
LA100V2.LDI インストール時の参照ファイル
```

2.2 サーバのインストールと共に

- (1) コンピュータの電源を切った状態で、本製品をコンピュータのPCI スロットに取り付けてください。
- (2) コンピュータに電源を入れ、NetWare 5のインストールを開始します。
- (3) インストールの途中で本製品が自動的に検出され、「次のデバイスドライバがこのサーバ用に検出されました」という旨の表示がされます。「デバイスタイプ」の画面の「オプション」で「変更」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (4) 「ネットワークボード」の「ドライブ名」で「DC21X4」を選択し、「Enter」キーを押します。
- (5) 「ネットワークボードドライバを追加、編集または削除します。...」が表示されます。「Del」キーを押して「DC21X4」を削除し、「Ins」キーを押してください。
- (6) ネットワークボードとドライバーの一覧が表示されますので、「Ins」キーを押してください。
- (7) 「F3」キーを押してください。「ディレクトリパスを指定してください」の表示がされます。本製品のドライバーを解凍したディレクトリパスを入力し、「Enter」キーを押してください。サーバドライバーの検索が始まります。
- (8) 「インストールするドライバの選択」で「CentreCOM LA100-PCI-T V2 Adapter driver」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (9) 「アダプタLA100V2_X(ドライブLA100V2)オプション」の「ドライバプロパティの変更」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (10) 「LA100V2_1プロパティ」でお客さまがご使用になる環境に合わせ、設定を行ってください。不明な場合は、システム管理者に相談してください。「ポートアドレス」を選択し、「Enter」キーを押してください。

- (11) 設定が終わったら、「ドライバリストに戻る」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (12) 「追加ネットワークドライバを選択しますか?」に対して、通常は「No」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (13) 「ネットワークボードドライバを追加、編集または削除します。…」が表示されますので、「追加ドライバオプション」で通常は、「ドライバサマリに戻る」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (15) 「次のデバイスドライバがこのサーバ用に検出されました。」の表示がされます。「ネットワークボード」のドライバー名が「LA100V2」であることを確認し、「オプション」で「続行」を選択し、「Enter」キーを押してください。ドライバーがインストールされます。
- (16) ここまでで、本ドライバーのインストールは終了です。引き続きサーバのインストールを行ってください。
- (9) 「ドライバLA100V2.LANをコピーしますか?」という表示がです。「Yes」を選択し、「Enter」キーを押します。プロトコルおよびパラメータをお客さまの使用する環境に合わせて入力してください。不明な場合は、システム管理者に相談してください。入力が終了したら、「ボードLA100V2_1(ドライバLA100V2)に対する操作」で、「パラメータを保存し、ドライバをロード」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (10) 「追加のネットワークドライバを選択しますか?」という表示が出ます。通常は「NO」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (11) 「追加するドライバに対する操作」の画面で、「前のメニューに戻る」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (12) 「ドライバオプション」の画面で、「前のメニューに戻る」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (13) 「環境設定オプション」の画面で、「終了」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (14) 「nwconfigを終了しますか?」の表示がですので、「Yes」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (15) 「Systemコンソール」に戻ります。これでドライバーのインストールは終了です。

2.3 サーバのインストール後に

まず、本製品がコンピュータに組み込まれているかどうかの確認をしてください。組み込まれていない場合は、NetWare 5サーバを終了し、コンピュータ本体の電源を切った上で組み込み作業を行ってください。本製品の組み込みが完了したら、サーバを起動します。

- (1) 本製品を組み込んでコンピュータを起動すると、「DC21X4」が自動的にインストールされます。
- (2) 「DC21X4」のインストールが終わったら、「System コンソール」で、「NWconfig」を実行し、「NetWare環境設定」を起動します。
- (3) 「環境設定オプション」の画面で、「ドライバオプション」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (4) 「ドライバオプション」の画面で、「ネットワークドライバの設定」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (5) 「追加ドライバに対する操作」の画面で、「選択したドライバの選択解除」を選択し、起動時にインストールされた「DC21X4」を選択して、「Enter」キーを押してください。次に「ドライバの選択」を選択し、「Enter」キーを押すと、「ドライバの選択」が表示されます。
- (6) 「Ins」キーを押し、「インストールするドライバを捜すために…」の画面で、「F3」キーを押してください。
- (7) 「ディレクトリパスを指定してください」でドライバーを解凍し保存したパスを入力し、「Enter」キーを押してください。本製品のドライバーが検索されます。
- (8) 「インストールするドライバの選択」に、「LA100V2.LAN CentreCOM LA100-PCI-T V2 Adapter driver」が表示されますので、これを選択し、「Enter」キーを押してください。

3 MS-DOS クライアントドライバーのインストール

DOS環境に対してNetWare 5のCD-ROMからインストールする例を説明します。その他の場合は、NetWareのマニュアルをご覧ください。

3.1 32ビットクライアントドライバー

32ビットクライアントドライバーは、「AT互換機/PC98-NX」のみをサポートしております(PC-9800/PC-9821用ドライバーディスクには収録されておりません)。また、弊社CentreNET PC/TCPは32ビットドライバーの元で使用できません。後述の16ビットドライバーをインストールしてください。

- (1) NetWare 5のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、INSTALL.BATコマンドを入力します。


```
C:\>d:
D:\>install dosx
```
- (2) ライセンスに関する表示がされます。契約内容に同意し、インストールを続行する場合は「ENTER」キーを押します。
- (3) インストールするオプションを選択します。ここでは、「Novell Client for DOS」を選択した場合を説明します。選択終了後、「F10」キーを押します。

- (4) LAN ドライバータイプの選択画面が表示されます。「32 ビット LAN ドライバ」を選択し「Enter」キーを押してください。
- (5) 「32 ビット LAN ドライバ」の一覧が表示されます。「USER SPECIFIED 32-BIT DRIVER」を選択し「Enter」キーを押してください。
- (6) 「ドライバディスクの挿入画面が表示されます。パスとして「A:*NETWARE.DOS*NW500」を指定してください。
- (7) 「CentreCOM LA100-PCI V2 Adapter driver」を選択し、「Enter」キーを押します。
- (8) 「CentreCOM LA100-PCI-T V2 Adapter driver の設定」画面が表示されます。お客様の環境にあった選択を行い、F10 キーを押してください。詳しくは、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。

・フレームタイプ

使用するフレームタイプを設定します。「Frame ETHERNET_802.2」は、NetWare 5/4.1xJ/3.12Jにおいてデフォルトで使用されるフレームです。「Frame ETHERNET_802.3」は、NetWare 3.11J以前のものにおいてデフォルトで使用されるフレームです。

・Media Attachment

使用する回線速度、全二重 / 半二重の設定を行います。どのメディアを使用するかは、お客様の環境によりますので、不明な場合システム管理者にお問い合わせください。「なし」を設定または何も設定しなければ、Auto Negotiationになります。

・Node Address

お使いの環境によって、Node Addressを独自に設定する必要がある場合に入力します。通常ここはなにも設定せず、空欄のままとしてください。

・Slot

お客様がご使用の環境によって、Slotを独自に設定する必要がある場合に入力します。通常ここはなにも設定せず、空欄のままとしてください。

- (9) 「インストール環境設定の要約」画面が表示されます。設定内容を確認しF10キーを押してください。ファイルのコピーが開始され、インストールが終了します。
- (10) コピー終了後、再起動するように指示されますので、フロッピーディスクドライブから、ドライバーディスクを抜き、再起動します。以上でNetWare 5クライアントのドライバーのインストールは終了です。

3.2 16 ビットクライアントドライバー

- (1) NetWare 5 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、INSTALL.BAT コマンドを入力します。

AT 互換機/PC98-NX

```
C:>¥>d:
D:¥>install dosv
```

PC-9800/PC-9821

```
A:>¥>q:
Q:¥>install pc98
```

- (2) ライセンスに関する表示がされます。契約内容に同意し、インストールを続行する場合は「ENTER」キーを押します。
- (3) インストールするオプションを選択します。ここでは、「Novell Client for DOS」を選択した場合を説明します。選択終了後、「F10」キーを押します。
- (4) LAN ドライバータイプの選択画面が表示されます。「16 ビット LAN ドライバ」を選択し「Enter」キーを押してください。
- (5) 「16 ビット LAN ドライバ」の一覧が表示されます。「USER SPECIFIED 16-BIT DRIVER」を選択し「Enter」キーを押してください。
- (6) 「ドライバディスクの挿入画面が表示されます。パスとして「A:*NETWARE.DOS*NW500」を指定してください(AT 互換機/PC98-NX の場合)
- (7) 「CentreCOM LA100-PCI V2」を選択し、「Enter」キーを押します。
- (8) 「CentreCOM LA100-PCI-T V2 の設定」画面が表示されます。お客様の環境にあった選択を行い、F10 キーを押してください詳しくは、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。

・Media Frame Type(s)

使用するフレームタイプを設定します。「Frame ETHERNET_802.3」は、NetWare 3.11J以前のものにおいてデフォルトで使用されるフレームです。「Frame ETHERNET_802.2」は、NetWare 5/4.1xJ/3.12Jにおいてデフォルトで使用されるフレームです。

・Optional Node Address

お使いの環境によって、Node Addressを独自に設定する必要がある場合に入力します。通常ここはなにも設定せず、空欄のままとしてください。

- (9) 「インストール環境設定の要約」画面が表示されます。設定内容を確認しF10キーを押してください。ファイルのコピーが開始され、インストールが終了します。
- (10) コピー終了後、再起動するように指示されますので、フロッピーディスクドライブから、ドライバーディスクを抜き、再起動します。以上でNetWare 5クライアントのドライバーのインストールは終了です。

3.3 インストール結果

NetWare 5.0J クライアント、LA-PCI ドライバーのインストールが終了すると、C:\NOVELL\CLIENT32(デフォルト)に必要なファイルがコピーされ、STARTNET.BAT、NET.CFG が作成されます。また、AUTOEXEC.BAT に STARTNET.BAT の記述と SET TZ= の記述が追加されます。

INSTALL.BAT に対してデフォルト値を指定して作成された AT 互換機/PC98-NX における、STARTNET.BAT、NET.CFG の例を下記に示します。PC-9800/PC-9821 の場合は、STARTNET.BAT においてドライブ名が「A:」となります。また、NET.CFG において「SHORT MACHINE TYPE」が「PC98」、「LONG MACHINE TYPE」が「NEC_PC」となります。

弊社 CentreNET PC/TCP を使用する場合は、エディタで NET.CFG を編集し、「Link Driver LA100V2」セクションにフレームタイプ (Frame ETHERNET_II) やプロトコル (Protocol IP 0800 ETHERNET_II、Protocol ARP 0806 ETHERNET_II) の追加を行ってください (記述例は「\netware.dos\nw500\net.cfg」をご覧ください)。

STARTNET.BAT (16 ビット LAN ドライバー)

```
SET NWLANGUAGE=NIHONGO
C:\NOVELL\CLIENT32\NIOS.EXE
LOAD C:\NOVELL\CLIENT32\NBIC32.NLM
C:\NOVELL\CLIENT32\LSL.COM
C:\NOVELL\CLIENT32\N16ODI.COM
C:\NOVELL\CLIENT32\NESL.COM
C:\NOVELL\CLIENT32\LA100V2.COM
LOAD C:\NOVELL\CLIENT32\LSLC32.NLM
LOAD C:\NOVELL\CLIENT32\PC32MLID.LAN
LOAD C:\NOVELL\CLIENT32\TRANNTA.NLM
LOAD C:\NOVELL\CLIENT32\IPX.NLM
LOAD C:\NOVELL\CLIENT32\SPX_SKTS.NLM
LOAD C:\NOVELL\CLIENT32\CLIENT32.NLM
```

NET.CFG (16 ビット LAN ドライバー)

```
Link Driver LA100V2
    FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester
    FIRST NETWORK DRIVE F
    NETWARE PROTOCOL NDS BIND
    SHORT MACHINE TYPE DOSV
    LONG MACHINE TYPE IBM_PC
    RESOLVE NAME USING PRIMARY OFF

NIOS
    LINE DRAW CHARS "  "

Protocol IPX
    IPX SOCKETS 40
```

I/O アドレス、インタラプトレベルの記述

NET.CFG の中で I/O アドレス、インタラプトレベルの数値を記述する必要はありません。I/O アドレス、インタラプトレベルは、コンピュータによって自動的に設定され、管理されます。

メディアに関する記述

NET.CFG の「Link Driver LA100V2」セクションには、回線速度、全二重/半二重 (FULL/HALF DUPLEX) に関して、以下の 3 種類のパラメータを記述することができます。

- LINE_SPEED 100
アダプタの回線速度を設定します。引数として、回線速度を指定します。「100」を指定すると 100Mbps、「10」を指定すると 10Mbps となります。
- TP_FULL_DUPLEX
全二重モードに設定します。引数は取りません。
- TP
半二重モードに設定します。引数は取りません。

これらのパラメータは、必ず下記の 5 通りの組み合わせで記述しなければなりません。

- (1) LINE_SPEED 100
TP_FULL_DUPLEX
- (2) LINE_SPEED 100
TP
- (3) LINE_SPEED 10
TP_FULL_DUPLEX
- (4) LINE_SPEED 10
TP
- (5) これらのパラメータを全く記述しない。
この場合、Auto Negotiation を有効 (Enable) に設定します。接続されている対向装置 (ハブまたはスイッチ) が Auto Negotiation をサポートしている場合、可能な最高の速度となります。しかし、対向装置が Auto Negotiation をサポートしていない場合、通信速度のみ自動的に検出し、検出された速度の半二重モードとなります。対向装置が Auto Negotiation はサポートしていないが、100Mbps の全二重モードをサポートしている場合、最高の通信速度を得るためには「LINE_SPEED 100 TP_FULL_DUPLEX」を指定しなければなりません。

(例 1) 100Mbps の全二重モード

```
Link Driver LA100V2
    FRAME Ethernet_802.2
    LINE_SPEED 100
    TP_FULL_DUPLEX
```

(例2)10Mbpsの半二重モード

```
Link Driver LA100V2
    FRAME Ethernet_802.2
    LINE_SPEED 10
    TP
```



ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1999 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。

NetWareは米国Novellの登録商標です。

PC/TCPは米国FTP Software, Inc.の登録商標です。

Windows、WindowsNT、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1999年01月12日

Rev.A

初版